

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成28年9月定例会の内容をお届けします。

2016
No. 56

平成28年11月15日発行



特集

井口ぱとろ～る隊
&
市議会

特集

井口ぱとろ～る隊 & 市議会

「目配り・気配り・心配り」を
モットーに
「明るく住みよいまちづくり」活動に
取り組む
『井口ぱとろ～る隊』の皆さんに
お話を伺いました。



青色回転灯装備車（青パト）

「おはようございます」「行ってらっしゃい」「気をつけてね」
子どもたちの元気な声と、響き合います。

「井口ぱとろ～る隊」は、現在45人（男性25人、女性20人）で活動しています。

「安心安全のまちづくり」のため、自発的に集まり活動を始め11年が経ちました。

活動のひとつとして、毎日、小・中学生の登下校の時間帯に、通学路の交差点などの危険箇所立ち、子どもの見守り活動、あいさつ運動を行っています。

《子どもたちの登校の様子は

どうですか？》

やり始めた時は、子どもたちの口が重くてあいさつが返ってこなかったのですが、声を続けることで、今では中学生や自転車通学の高校生ともあいさつを交わし合っています。とても気持ちがいいですね。

集団登校から遅れて来ていた子が、最近では先頭を歩いてくるようになり、うれしい現れです。

横断歩道を渡るときは、左右を見て手を挙げるようにさせたいですね。

《ほかにはどのような活動を

なさっていますか？》



自前の車（20台）に青色回転灯をつけ、10班に分かれ、交代で防犯パトロールを行っています。40人が警察から運転許可をいただいています。

不審者や子どもの夜の徘徊を見回るパトロールで、犯罪の発生はありません。拡声器をつけた車は、防犯・防災・交通安全活動に広報の面でも貢献しています。

《活動費用はどうなっていますか？》

隊員から年会費2000円を集めています。市・自治会の助成金を合わせた自主会計です。十分活動できています。

《ぼろろる隊の今後はどうですか？》

私たちも70代。隊員を増やし、若い世代へつなげたいです。

活動自体を魅力あるものにし、人とのつながりを生かし、若い人を誘いたいと思っています。

《「議会だより」はお読みですか？》

議員の質問、市長の答弁をよく読んでいます。次の「議会だより」が楽しみです。

皆さんの活動は、静岡県知事表彰やボランティアフォーラム全国大会での発表など高く評価されています。これからも「明るく住みよいまちづくり」のためご活躍ください。ありがとうございました。

定例会 の 概要

平成27年度

一般会計と特別会計の決算を認定!!

平成28年第3回定例会が、9月1日(木)から30日(金)まで、30日間の会期で開催されました。



9月1日(木) 本会議初日 31議案上程

市長専決処分による報告2件、平成27年度会計決算(一般会計決算、特別会計8件、公営企業会計2件)のほか、平成28年度一般会計等の補正予算5件、条例改正8件、一般議案5件、請願1件が上程されました。

また、この日に川根温泉メタングス設置工事に関する一般議案1件が可決されました。

9月9日(金)～13日(火) 一般質問 議員16人が登壇

議員16人が登壇し、一問一答による個人質問を行いました。

(11～19ページ)

9月14日(水) 議案質疑 議員述べ9人が登壇

議員延べ9人が登壇し、議案の詳細について市当局に質問しました。

(5～7ページ)

Pick Up 1～4と「ここに注目!」へ

9月15日(木)～9月20日(火) 常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会が、それぞれ1日ずつ3日間にわたり、付託された議案審査と請願審査を行いました。

(8～10ページ)

9月30日(金) 本会議最終日 28議案可決・意見書採択

3常任委員会での議案審査と結果について各委員長が報告し、引き続き延べ14人の議員が賛成・反対の討論を行いました。採決の結果、22議案は全員賛成、5議案は賛成多数によりそれぞれ可決されました。また、請願は反対多数となり不採択となりました。

(20～22ページ)

さらに意見書1件を採択し、国会などに送付しました。

(19ページ)

Pick up 1

経常収支比率が改善されたか？

Q 経常収支比率が88・5%と前年比3・1ポイント改善された。この数値をどう分析しているか？

A 平成27年度は、地方消費税交付金等の外的要因により一時的に改善した。今後は、社会保障経費等が増大し、比率は上昇すると考える。

Q 平成27年度普通地方交付税額が上昇したが、今後の見通しは？

A 平成28年度の普通交付税決定額は減少し、今後も合併算定加算が段階的に減少するため、普通交付税は減少すると認識する。

Pick up 2

ふるさと寄付金はどう生かす？

Q ふるさと納税者が支援したい事業とは？

A 児童・子育て関係が最も多く1524件のうち392件で、次が環境関係119件、続いて福祉関係156件となっている。

Q 目的に沿った運用をどのようにしているか？

A 平成28年度当初予算において、民間保育所建設助成事業や放課後児童クラブ運営費の財源として、ふるさと応援基金を重点的に充当した。

Q 今年度この事業を進めていく上で心掛けたことは何か？

A お返しする記念品数を増やすよう努めていて、現在は150品目ほどになる。

Pick up 3

介護予防・生活支援サービスの現状は？

Q おでかけデイサービス事業、げんき教室事業は年度途中で始まった新総合事業だが、利用者が少ない理由は？

A 新事業であるため認知度が低かった。げんき教室は対象者となる高齢者の把握が難しかった。

Q 両事業の利用増対策はどうするのか？

A 市の広報媒体で事業の紹介、ケアマネジャー研修会で利用を呼びかけ、関係機関と連携し、対象高齢者の情報把握をしていく。

Pick up 4

光ファイバ網整備事業はどう進む？

Q 債務負担行為として追加補正で出されたこの事業の規模と内容は？

A 平成29年度に実施するための債務負担行為。予算額1億8000万円とし、財源として過疎対策債、合併特例債も活用する。

Q 対象となる地域はどこか？

A 川根地区を含む島田北部地域である。

Q 今後設置する推進協議会の役割とメンバーは？

A 設置は補助金交付の要件になっている。補助対象の地域、施設、事業者の選定方法、経費の審議のため、今年度設置の準備を行う。メンバーは市の総務課・戦略推進課・地域づくり課、静岡県情報政策課の職員を含めた構成となる。



平成27年度 島田市 各会計決算を認定 皆さんの税金はこのように使われました。

一般会計歳出額（使ったお金）

359億6,439万円

歳出額（公営企業会計を除く）

577億8,062万円

前年度の「税金の使い道（決算）」に関して、9月定例会において市長は市監査委員と市議会のチェック（審査）を受けなくてはなりません。

平成27年度の島田市決算が市長から示されたので、9月15、16、20日の3日間に開催された3つの常任委員会にて決算の審査を行い、「認定すべき」と決しました。（P8～10）

さらに、30日の本会議最終日においては決算を認定しました。その一部を紹介します。

平成27年度 島田市の各会計決算（公営企業会計を除く）

	歳入（市の収入）	歳出（市の支出）
一般会計	377億3,729万円	359億6,439万円
特別会計		
国民健康保険事業	117億7,333万円	114億3,082万円
簡易水道事業	2億672万円	2億27万円
土地取得事業	5億3,696万円	5億3,696万円
休日急患診療事業	2,260万円	1,314万円
公共下水道事業	10億6,227万円	10億4,853万円
介護保険事業	75億7,124万円	75億873万円
介護サービス事業	5,817万円	4,954万円
後期高齢者医療事業	10億3,002万円	10億2,821万円

島田市（一般会計）は、市債（借金）残高が減り、基金（貯金）が増えています。

	平成27年度末の残高	平成26年度末と比較
市債	425億9,871万円	△6億4,545万円
基金	125億771万円	3億5,853万円

公営企業会計（支出のみ）

公営企業会計（支出のみ）	
水道事業会計	15億8,667万円
うち、収益的支出	9億3,283万円
資本的支出	6億5,384万円
病院事業会計	137億7,611万円
うち、収益的支出	129億808万円
資本的支出	8億6,802万円

総務費 43億4,996万円

新市誕生10周年記念事業	959万円
コミュニティバス運行管理経費	2億4,018万円
地域消費喚起・生活支援型事業	5億7,932万円



民生費 111億1,914万円

こども館管理運営事業	3,061万円
特定不妊治療費助成事業	4,112万円
生活保護扶助費	4億9,742万円



衛生費 41億6,654万円

定期予防接種事業	2億5,118万円
新病院建設基金新規積立金	4億円
ガス化溶融施設管理運営経費	7億9,494万円



農林業費 10億7,093万円

担い手育成支援事業	110万円
がんばる認定農業者支援事業	1,992万円
強い農業づくり交付金等事業	1億1,870万円



商工費 8億3,091万円

富士山静岡空港就航先販路開拓事業費補助金	70万円
企業立地促進事業費補助金	2億5,419万円
オリンピック・パラリンピック合宿誘致経費	5万円



土木費 31億2,084万円

道路施設管理経費	8,797万円
橋りょう長寿命化修繕・耐震事業	1億4,387万円
ばら制定都市会議開催経費	208万円



消防費 18億460万円

消防団活動事業	7,289万円
消防自動車更新事業	3,191万円
自主防災組織育成事業	1,216万円

その他 48億6,190万円

議会費	2億2,798万円
労働費	3,814万円
災害復旧費	7,102万円
公債費	45億630万円
諸支出金	1,844万円

教育費 46億3,953万円

教育用コンピュータ整備経費（小・中学校）	3,507万円
川根小学校改築事業	9億100万円
島田球場改修事業	8,765万円



※各欄の金額について、端数処理（千円以下切り捨て）をしています。

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があり、議員は必ずいずれかの委員会に属し、議案審査に当たります。9月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

民生委員・児童委員の負担軽減が必要！

平成28年度 一般会計補正予算

●老人福祉費

老人福祉施設管理運営事業

Q 介護ロボット導入事業者

を対象とした「地域介護・福祉空間整備推進交付金事業」の今後の継続性と、申請事業所の状況は。

A

全国5千数百件の事業所から申請があり、この状況を国が判断し予算を確



介護士の負担が楽になるロボット

保すればあり得る。市内では、2月の要望調査時点で4法人6事業所10件の申請があった。

●感染症予防費

定期予防接種事業

Q B型肝炎ワクチン接種対象者と副作用は。

A

接種対象者は0歳児、接種者の5%以下の確率で発熱、発疹、吐き気、筋肉痛等が見られるとの報告がある。

●文化財保護費

諏訪原城跡整備事業

Q 事業費が減額されている。整備計画への影響は。

A

現段階では平成39年度を目標に実施しているが、整備年度については延長の可能性がある。

平成27年度 一般会計決算認定

●民生委員・児童委員活動事業

民生委員・児童委員の適正人数と負担軽減策は。

国の配置基準に基づき、市の人口規模等から193人が適正とされている。各課に委員の出席を縮小するようお願いするなど、委員の負担軽減に努めている。

委員の負担軽減に努めている。

●社会体育施設業務委託運営事業

委託の管理基準と契約年数は、契約年数は1年、管理基準は、機械・手刈りでの草刈りが3回である。

Q 川根球場では、見かねて地元住民が草刈りをした現状だ。その確認はされているのか。

責任ある課として、全体を確認し管理する。

責任ある課として、全体を確認し管理する。

平成27年度

介護保険事業

特別会計決算認定

総合事業訪問介護・生活支援員派遣事業の実績をどう評価しているか。

A

平成27年にスタートした新総合事業のうち、総合事業訪問介護等の新規事業の利用は低調であった。今後の増加を期待する。



住民に親しまれている川根野球場

交付金減額！どうなるインフラ整備

平成28年度 一般会計補正予算

●内陸フロンティア 推進区域整備事業

Q 財源が、合併特例債から一般財源になった理由は、工業用地として造成し売却するという事業により、合併特例債事業の対象外と判断されたためである。

●東町御請線整備事業

Q 国の土木関係交付金が減るなか、工事を少しでも前へ進める工夫はしているか。

A 市としては、主要事業を決め、国などにも関心を持ってもらうことが必要だ。先方へ職員が出張し、指導を受けている。



整備が進む東町御請線

財産の取得について (消防ポンプ自動車)

Q 車体とポンプなどの機装部分を分離して発注し、ポンプ自動車として購入する場合の問題点は、故障箇所が特定できず、修理に時間がかかる。

A 入札価格が予定価格より高かったため随意契約となったが、経過を伺う。過去の実績と見積り額を総合的に判断し予定価格を決めたが、入札価格が



機装途中の消防ポンプ自動車(同型)

予定価格を上回った。差額があらかじめ決めた5%以内だったため、随意契約に切り替えた。

平成27年度 一般会計決算認定

●雇用促進・就労支援事業

Q 市が補助をしているシルバー人材センターの契約金額・就業率が下がっているが、状況はどうか。

A 企業の再雇用により就業率が下がっているが、受託率は微増である。

●世界農業遺産推進事業

Q 茶草場農法推進の成果はどうか。もう少し目に見える事業はできないか。

A 昨年は見本市やイベントに7回出展した。継続して取り組んでいきたい。

●田代の郷温泉管理運営事業

Q 前年に比べ、入館者数が減っている理由は何か。

A 近隣の温泉施設のリニューアルや川根温泉ホテルの影響を受けた。

●賑わい・交流拠点整備事業

Q 大井川鐵道(株)の関わり方がはっきりしない。新駅建設の事業主体はどこか。

A 大井川鐵道(株)が主体となるが、構想段階であるので具体的にはこれからだ。

決算の成果を、予算に反映すべき!!

市税条例等の一部を改正する条例

市の公債権にかかわる督促手数料を廃止することで、事務の合理化・効率化を図り、早期かつ適正な滞納処分による公正性の担保と自主財源確保の取り組みを強化する。

平成28年度一般会計補正予算

●戦略推進費

Q 「ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト」とは、
A 藤枝市と連携し、市内ICT企業や金融機関が参画する(仮称)ICTコンソーシアムを立ち上げ、人材育成や地元企業へのICT導入促進、新しい働き方の創出を推進する事業である。



ICTによる推進事業イメージ

平成27年度一般会計決算認定

●総務費一般管理費

Q 職員定員管理計画を今後どのように進めるか。
A 年齢バランスなどを考慮しながら、5年間で計画を立て適正化したい。

●人権・男女共同参画費

Q 審議会等委員、行政委員、市の管理職に占める女性の割合は。

A 審議会等25・9%、行政委員10・2%、管理職16・8%(平成28年では18・8%と管理職は増加している)。

●事業仕分け実施経費

Q 事業仕分けによる事業内容の見直しは、予算にどのように反映されたか。

A 平成26・27年度の2力年で敬老事業祝い金の対象年齢見直し、田代の郷の指定管理(平成26年度)制度などで、平成28年度予算で1億3600万円の減額がされた。

●空港周辺プロジェクト推進事業

Q 旧金谷中学校跡地活用アイデアコンペの作品の反映の方法は。

A 県の有識者会議が策定する基本計画に、民間事業者の意見と併せ反映する。



利活用が検討される旧金谷中学校跡地

「所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願

●反対2人

国でも所得税法の見直しが盛り込まれた議論がされている。推移を見守るべきだ。

●賛成3人

時代に則した税制改正がなされるきっかけとなる。白色・青色申告とも記帳が義務化されているため家族給与と同様に経費として認めるべきである。

市長に質す^{ただ}！

一般質問

Q & A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に一般質問を行います。

島田市議会9月定例会では、各議員による個人質問を実施しました。全議員が一問一答方式（議員が一つの質問し、市長等も一つずつ答弁）を選択し、質問と答弁の双方で50分の制限時間内で行いました。

今号では、議員16人の個人質問内容の一部を紹介します。

あなたが興味を持った質問はありますか？

※一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。
※録画映像は、パソコン、スマートフォン、タブレットでも見ることができます。



島田市の教育を考える



くればやし みつぐ 議員 紅林 眞

Q 島田市の幼児教育（保育）に関する基本的な考えを伺う。

A 幼児教育は生涯にわたる人間形成の基礎に関わることである。家庭、地域社会、幼稚園等の横の連携、そして幼児の発達や学びの連続性を踏まえた縦の接続を充実していくことが重要だと考える。家庭教育の充実を図ると共に、各幼稚園や保育園の特色を生かす中で島田市の子どもを育てていきたい。

Q 保育をさらに充実させる必要性について、どう思っているか。

A 子どもを預けて働きたいという希望がある人は、預けて働ける環境を整えることが第一ではないかと思っている。保育園、放課後児童クラブ等を含めた待機児童ゼロを喫緊の課題として取り組んでいる。

Q 市内の小規模校に対する島田市の方針を伺う。

A 島田市の未来を担う人材を育てていくために、地域の特色、実

情を考慮しながら小規模校の教育のあり方について、今後プロジェクトチームを立ち上げ検討していく。子どもたちにとってどういう教育をすることが望ましいか、という観点が大事ではないかと思う。

Q 平成32年には英語教育が小学校五年生から正式教科になるが、準備等の課題を伺う。

A 人材確保が課題である。



島田市の乳幼児教育を担う保育園・幼稚園

蓬萊橋周辺整備は

総合的に！



もり しんいち 議員

Q 物販所兼休憩所を造るとのことだが、具体的にどんなものを販売するのか。

A 市のお茶を中心に和菓子や小物類、「島田の逸品」などである。

Q 物販所で市の観光案内もするか。
A 市内の別の観光施設（特に博物館エリア）にもぜひ導いてもらいたいので、販売の職員には観光案内のできるようなレクチャ―をしていきたい。

Q 物販所兼休憩所の位置や、どんな内容の建物となるかは、橋番小屋やトイレをどうするかなどと深く関連しており、総合的に決めるべきだがいかがか。

A ミズベリング協議会は、全体的な計画を全て策定して実行していくような形になる。ただ、現時点では「物販所をなるべく早期に建設をしていきたい」ということで協議して建築にはいる。その場所等については、後で不都合が生じないよう、十分に審議をしていきたい。



蓬萊橋の2つの文学碑（向きが逆）

Q 蓬萊橋周辺には文学碑が3つ（石原純、吉田弦二郎、田中波月）あり、昭和初期の文化が集まっている場所だ。そういう観点から勝海舟の銅像とこれらの碑との動線を考えるべきだが、いかが。

A 全体の中でのそういった動線も考え、案内板等も今後しっかり誘導していけるようにしていきたい。

地域活性化事業の

あり方を問う！



なかだ ゆうこ 議員

Q 賑わい交流拠点整備事業における新東名高速道路の高架下駐車場等について、中日本高速道路（株）との交渉状況を問う。

A 現時点では駐車場の整備の事業費は概ね9000万円。面積はできるだけ広く確保したいが、協議の中で精査し確定する。

Q 当事業における農振除外は。

A 農業振興地域整備計画の定期変更は、来年2月に向け農振除外の手続きを進めている。高いハードルではあるが、国・県の指導を受けゴールに近づけている。

Q 工事の着工は平成30年と聞くと、予定は今も変わらないか。

A 着工の時期の変更はない。

Q 「緑茶化計画」が市民に浸透していない。前回の議会報告会においても市民から指摘を受けた。ロゴマークを使ってアピールすべきである。議会放映を通じてロゴマークを身につけて宣伝すべきであると考えるがいかがか。



僕たちこのバスで「しらり」に通っています

A 自治会連合会の集まりでは、全員ロゴマーク入りのネクタイを着用させている。次の議会には揃ってつけていると思う。

Q コミバスの菊川神谷城線は、4月から障害者にとって不便になったとの声があるが、対策は。

A 利用者の要望はさまざままで全て応えることは大変難しいが、障害者をお持ちの利用者への対応は、施設への到着の時刻等の配慮を見直していく予定である。

市民で守ろう 六合公民館の駐車場



ひらまつよしお
平松吉祝 議員

Q 0歳から2歳児の保育園建設予定が六合と向谷にあるとのこと。六合地区は、防災や交通の危機管理の面からも、六合公民館の駐車場は必要不可欠である。なぜこの場所なのか。計画作成にあたり、地元住民の意向を確認したか。

A 各自治会長やコミュニティ委員会の会長に説明した。

Q 建設計画作成は、誰がどこで行ったか。

A (福)六合福祉会より保育園建設の提案をいただき、市内部で協議した。建設について、市の予算は今はない。

Q 予算もなく決定していないのに、造ると言っているのか。

A 市有地を使い六合福祉会が建設するので、島田市としては予算を計上していない。

Q 住民説明会で多数の反対意見があったが、どう分析したか。

A 前回の説明より、建物規模を少し小さくして進めたい。



駐車場は六合住民の大切な財産です

Q 六合の人口に対し、駐車台数は200台必要ではないか。

A ご理解いただきたい。

Q 待機児童数は現在何人か。

A 本年7月1日現在で12名。

Q 住民アンケートを採るべきではないか。

A アンケートを採る予定はない。

Q 空き家などを使用し地域の特徴を生かす保育は検討したか。

A 認可保育園を建設していく。

子育て・保育現場の 現状を問う



おおいしせつお
大石節雄 議員

Q 市内保育所の課題は何か。

A 保育士不足や、発達障害など特別な支援が必要な子供への対応などに苦慮している。

Q 保育士の賃金格差の現状は。

A 全職業の平均賃金と比較し、保育士は11万円低い。しかし1年目の保育士では民間のほうが市の保育士より高い。ただ10年目になると市が高くなる。

Q 労働環境が保育士不足の要因ではないか。また、保育士バンクなど保育士を斡旋する考えは。

A 保育士確保の問題は、市も民間も両方同じである。保育士を登録し斡旋できるかどうか、先進的に行っている市を参考に可能性について検討したい。

Q かね保育園の民営化準備委員会で地域の意見を聞くべきでは。市としては、きちんと市民のほうに向き合っていきたい。

A 市としては、きちんと市民のほうに向き合っていきたい。

サッカー場の整備計画は

Q 国土交通省との河川占用許可状況は。

A 横井運動場公園内の全体計画を構築する中で、年次整備計画を作成し、河川占用許可を受けるよう指導されている。現在事前協議をしている。

Q 具体的なタイムスケジュールと市民の意見の反映方法は。

A 今後、サッカー協会や野球連盟などの要望や意見などを聞きながら、平成29年度に策定したい。



29年度に整備計画を策定する横井運動公園

島田球場を核に 賑わい交流活性化を



むらた ちづこ 議員

Q 地域資源を活用し地域活性化に結びつける観点から、歴史と伝統ある島田球場を生かせば、大きな効果が期待できる。設置要望の多い電光掲示板の見直しは。

A 市民球場としての役割から、多額の費用改修の予定はない。

Q 野球を通じた市外・県外からの観光・宿泊を含めた取り組みや、東京オリンピックの練習場・合宿誘致の考えは。

A 球場を使い過ぎると天然芝が傷み数カ月間の養生期間が必要となるので、市民や利用団体への影響を考慮し、慎重に検討したい。

Q 来年4月に設立する社会人硬式野球チーム「山岸ロジスターズ」を地域で育てる環境づくりが大事だと思う。市としての支援は。

A 施設の利用など協力できるところは積極的に支援していきたい。



↑
を知っていますか

Q 耳マーク「筆談に応じます」表



長嶋・王・イチロー選手も来島！島田球場

示板のさらなる設置を。

A 議会事務局など、未設置窓口に積極的に推進を図っていききたい。

Q 難聴の人も議場で傍聴できるように、磁気ループ（補聴器を補助する放送設備）の試行を。

A 設置および利用の仕方を実際に検証しながら検討したい。

Q 障がい者に寄り添える人材づくりとして、要約筆記養成講座を職員研修への位置づけを。

A 難しいが、人事課にて検討する。

条例制定で 中小企業の振興を



ふじもとよしお 議員

Q 地域産業を支える中小企業の経営基盤強化など、競争力を高める産業振興は進んでいるか。

A 各種補助制度の活用、働きかけ、商工団体への支援、雇用確保支援などを行っている。今年度からは島田市産業支援センター「おびサポ」をオープンした。

Q 昨年は県内複数の市町で中小企業振興の基本条例を制定する動きがあり、静岡県でも制定するようだが、市長の考えはどうか。

A これまでの経緯を踏まえ商工会から要望も出されていることから、島田市中小企業・小規模企業振興条例の制定を考えている。

在住者の定住化施策は

Q 市内への移住件数の動向は。

A 昨年、市の定住施策を利用した世帯は3世帯6人で、今年は6世帯17人となっている。

Q 市内に住んでいる人に住み続けってもらうためには、一定程度イ

ンセンティブも必要ではないか。

A 川根地区で、定住化のための具体的な施策を考えている。

Q 近隣市町では、結婚支援事業に助成金を上乗せする動きもある。在住者流出阻止のためにも、勤労者住宅資金利子補給事業を再検討する考えはないか。

A 利子補給は定住の選択肢であると思うが、定住施策としては住宅購入への支援も必要と考えている。今後研究をしていきたい。



県内自治体の住宅融資制度パンフレット

静浜基地移転

知事発言について問う



伊藤 孝 議員

Q 7月28日自衛隊静浜基地移転の県知事発言について、現状はどのようなになっているのか。

A 静岡空港の大規模な広域防災拠点としての機能強化を図るため、あらかじめ静浜基地の持つ災害時の機能の一部を静岡空港に持たせてはどうかという趣旨で発言されたものであり、静浜基地そのものを移転することはないと確認した。

Q 月坂団地前を通る県道のマンホール等を歩道へ移設して、騒音を減らす考えはないのか。

A マンホールおよび污水管が原因で振動、また騒音が出るという指摘はいただいている。歩道の中へマンホール、污水管を移設するという考えは全くない。

アクセス道路騒音対策は

Q 月坂団地前を通る県道のマンホール等を歩道へ移設して、騒音を減らす考えはないのか。

A マンホールおよび污水管が原因で振動、また騒音が出るという指摘はいただいている。歩道の中へマンホール、污水管を移設するという考えは全くない。

Q 県知事の『防災拠点として』という発言がなかったとした場合、市は移転を認めるつもりはあったのか。

A あり得ない話と思っている。民間の航空機離発着用の空港として建設された経緯がある。いくら県が造り、県が所有している空港とはいえ、自衛隊の基地を移転するという話においては考えられないことしか答えようのないところである。



振動の原因？ 損傷が激しいマンホール周辺

知っていますか？ 「こども食堂」



横田川真人 議員

Q 子どもの貧困家庭の状況は把握しているか。

A 把握していない。ただし、要保護（生活保護）世帯と準要保護世帯を合わせて550世帯ある。

Q 対策はしていないのか。

A 児童扶養手当等の給付や修学資金の貸付け等を行っているが、十分とは言えない。来年度実態調査を行う。

Q 栄養面や孤食防止のため、子ども一人でも行ける「こども食堂」を導入する考えはないか。

A 実態調査の結果を踏まえて、NPOやボランティアが実施する際に必要な支援を検討する。

光が…広がっていく

Q インターネットの光ファイバ網整備事業費補助金の概要は。

A 民間業者が行う光ファイバ網整備にあたって、整備コストの低下により具体的な費用見積りが出てきたので、補助をするもの

である。協議会を設置して、業者選定方法やエリアを決めていく。

Q スケジュールは。

A 平成30年3月に工事完了した後、に開通の予定である。

Q 全域整備を希望するが、仮に未整備地域が残った場合は次期総合計画、基本計画に強い文言にて推進してほしい。

A 適切な文言を記載したい。

ADSLと光の速度の違い



ADSL・光速度の違い

コミュニティバス ダイヤ改善を！



あおやままさたら
青山真虎 議員

Q コミュニティバスであるが、ダイヤ・料金の変更に、市の収入の増減はどうなったか。

A 約3000万円が減額された。

Q バスは高齢者の交通手段だ。福祉費を削ってはいけない。苦情が出ている地区はどこか。

A 市内全域から出ている。

Q 特にどこか。

A 中山間地が多い。

Q 10月にもダイヤ改正ができると聞いている。やるのか。

A 制度上できない。

Q 4月にはダイヤ改正すべきだ。やるのか。

A 少しずつ修正していきたい。

Q ダイヤ改正により子供たちが危険な目にあっていないか。

A 山の家停留所が少し注意を必要とする場所である。見直しを図っていく。

Q 市民病院への直通バスだが、工夫すればできないか。

A 考えていない。他の方法で検討したい。



もっと、よりそった市政にならないか

Q 地域の課題を解決したい町内会に若い世代が参画するためにはどんな工夫が必要か。

A 活動内容について理解が必要だ。

Q 官地を市民の生きがい指定区域にして、整備を図ってはどうか。

A 市と地域にメリットがでる工夫ができないか調査したい。

Q こども議会をやるべきだ。

A 教育課程の中で時間的なことなど、大きな課題がある。

災害発生後の復旧対策は 万全に！



しみずただし
清水唯史 議員

Q 業務継続計画（BCP）の状況は。本年度末までに修正した計画の策定を完了予定である。

A 策定を完了予定である。

Q 住民重要データの保管状況は。本庁・市内・県外のサーバーで多重的にバックアップしている。

A 罹災証明発行時の人的応援は。県土地家屋調査士会と協定を締結している。

Q 災害廃棄物処理計画の策定は。本年度末までに完了予定である。

A 市内の災害廃棄物の発生推定量と、その処理施設の必要面積は。量は90万3000立方メートル、面積は2・5メートルの高さで36万平方メートルが必要である。

Q 最終処分場の必要性は。県は、災害廃棄物を各自治体で処理することを基本としている。

A FM島田の災害時の役割は。緊急時の放送はもとより、復旧時の身近な情報を提供することが重要となる。

Q 志太3市の連携で活性化

A 「起業・創業、中小企業への連携支援による活性化」の内容は。

Q 地方創生推進交付金を活用し、企業のICT化の支援を藤枝市と連携して事業化を検討する。

A ロケ誘致による魅力創出は。3市でフィルムサポート島田を支援し、公民連携による3市の地域資源の情報を共有する窓口体制を構築する。



ひまわり
映画「向日葵の丘」島田市内ロケ風景

大丈夫か？市の防災対策



やぎのぶお
八木伸雄 議員

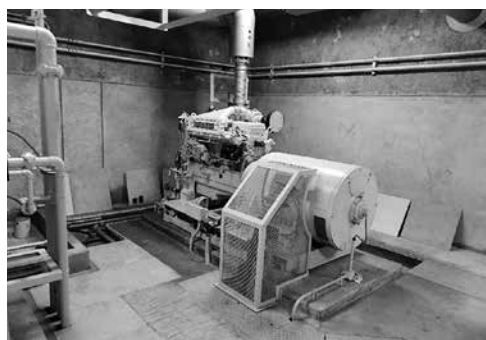
Q 2年前に大雪で神座が長時間渋滞した。その他、雨による大井川堤防の市道陥没や、落石による事故なども、危機管理部を設置したことで責任の所在が不明になり、危機意識が低下したのではないか。

A 原子力災害の避難マニュアルや地域防災訓練・情報伝達マニュアルの作成などの成果はあった。御指摘の点は今後各部の連携を強化徹底する。

Q 市の洪水ハザードマップは、千年に一度の確率で、降水量2日で550ミリメートル、時間80ミリメートルを想定しているが、現在は80〜90ミリメートルも珍しくない。過去に近隣で降水量が700ミリメートルもある。想定を見直すべきだ。

A 現在のもので応用で対応できる。今後、新たな想定が出された後作成したい。

Q ダムの堆砂や河床の低下による堤防の洗掘・侵食も心配だ。瞬



おおる地下の非常用発電装置

間雨量の増大による内水反乱も含め再検討を求める。

A 事前の避難を徹底する。

Q 洪水マップ上で浸水が危惧される水害対策本部「おおる」の非常用電源が地下にあるのは問題だ。改善を求めるとともに、市役所も地震の際は機能しないのではないか。

A 躯体（天井などを除く建物本体）は壊れないと聞いている。

成功させたい

海外チームの合宿誘致



やまもとたかお
山本孝夫 議員

Q 東京オリンピックの事前合宿を島田に誘致すべく、4月に高木副市長がシンガポールに赴いたと聞く。内容はどうか。

A 卓球代表チームの会長、監督、技術ディレクター3氏に会い、島田市の練習会場予定のローズアリーナを含めたプロモーションビデオを見てもらいながら事前合宿をお願いした。

Q その後の誘致活動はどうか。

A 6月のジャパンオープンで東京に卓球代表チームが来日した際に再会し、PRと応援を行った。

来年6月の大会時には、コーチ陣が島田市の視察に来てくれる。

Q 問題点は何があるか。

A ローズアリーナにエアコンがないことで、改修設置費用は2億4千万円程度を想定しており、国からの補助制度も利用したい。誘致が成功した時のメリットは何か。

A 一流選手のプレーを見学でき、特に若者に夢を与え地域スポー

ツ振興に役立つと共に、国際感覚が育まれる効果が期待できる。

特殊案件入札は慎重に

Q 技術性や文化芸術性を有する入札には工夫が必要だがどうか。

A これらの特殊案件については、その道に精通している技術者や専門家等に意見を求め随意契約を含めた適正入札を行い、業者選定をしていく。



エアコン整備が検討されるローズアリーナ

視点を変えれば まちづくりが変わる



さの よしはる 議員
佐野義晴 議員

Q 旧中心市街地活性化計画を振り返ると、人口・商品販売額等、目標値と実績値にかなりの開きがある。これらの検証と、今後の対応のあり方を伺う。

A 旧計画は計画のための計画であった。これからは、途中でも目標値も含めて修正していく。

Q 中心市街地活性化（特に本通5丁目以東）の投資金額を抑制するの、地主から土地を借りて使う権利を第三者に委ねる「定期借地権」設定で、小さな基盤整備を繰り返し土地の流動性を高め、街の再開発はできないか。

A 大変可能性がある手法だ。進め方として、コーディネート等は民間にお願いする。

Q 新病院は街の核となる公共施設である。開院後の周辺整備について伺う。

A 病院周辺の道路や排水路の整備。例えば、大津谷川に沿った幹線道路構想など、住環境をさらに良好にする。これから策定する



プロポーザルに提案された新病院のイメージ図

まちづくり計画の中で、より踏み込んだ方向性を示す。今からの時代、病院と福祉の一体化がさらに必要となる。

Q 新病院周辺に内科・整形外科・眼科・歯科等がある「医療村」を建設するとか、老後の安心のための介護付マンションなどをまちづくり計画に組み込めないか。

A その方向性（医職住）に向かっているので、提案に賛同する。

市有財産を もっと活用しよう！



すぎの なおき 議員
杉野直樹 議員

Q 市が保有する財産のうち、利用していないまとまった土地の総面積と資産価値はいくらか。

A 未利用地は300平方メートル、100坪以上のものは市内に12カ所、面積は合計で約2万9000平方メートル、約9030坪。資産価値は、近傍地の評価額から推計し約9億円である。

Q その土地は公表しているか。

A 現在、公表していない。

Q 民間活力で有効活用を考えるのであれば、その情報は公表すべきと考えるがいかがか。

A 他の自治体の例で、有効活用につながるような方策があれば、工夫していきたい。

Q 大津通沿いのコンコルド跡地を市長がリーダーシップを発揮して、利活用を進めていくのであれば、そこにどのような施設ができることが望ましいか。

A 子育て世代の居場所という観点と、もう一方で高齢者の居場所にもなる。小売業や飲食店等に



今後の利活用が期待される市有地

出店いただくことも活用する方法ではないかと期待をしている。

Q 例えば、企業が長期に渡り利用している市の借地が、途中企業から購入要望があった場合、企業流出を防ぐ意味で優遇取得できるような契約内容で借地することはできないか。

A 今回の提案を受けて、先進事例を調査しながら検討したい。

本気で取り組み！ 子どもの貧困対策



さかいようこ 議員 桜井洋子

Q 子どもの6人に1人が貧困状態にあり、中でもひとり親家庭は深刻で、貧困率は54・6%（2012年）だ。市は、子どもの貧困の現状をどのように把握しているか。

A 市内の子どもの貧困の現状については、把握していない。ただ、幼稚園、保育園、学校において、子どもが発する貧困のサインから状況を判断している。

Q 貧困の実態調査を来年度実施することだが、その内容は。

A 先進自治体のものを参考に、専門的なコンサルタントに入ってもらい、内容を検討していく。

Q 経済的に困難な家庭に、学用品費や給食費などを支給する就学援助制度がある。対象となる家庭の所得基準を「お知らせ」に掲載して、申請しやすくする必要があるのではないか。

A 受給対象となる所得基準を示していきたい。

Q 子どもの医療費助成を高校生ま

で拡大すべきだが、どうか。

A 今の制度で拡大すると5600万円掛かる試算だ。国、県の補助が受けられず、実施は困難だ。

Q 学習支援の「無料塾」や食生活の貧困に対応する「子ども食堂」に取り組む考えはないか。

A 来年度、子どもの居場所づくり事業として、食事の提供、学習支援を試みとするモデル事業を実施していきたい。



健やかな成長への支援をどの子へも

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

意見書1件を採択しました

地方議会は、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。9月定例会では意見書の提出1件について採択し、国会と関係行政機関に送付しました。

次期介護保険制度改革における
福祉用具貸与・住宅改修の見直しに
関する意見書

軽度者向けの福祉用具貸与と住宅
改修の利用について、介護保険の
給付対象として継続すること。

※提出した意見書の全文は、市議会のホームページ
または市役所の情報公開コーナーで御覧ください。



反対?

ザッ 討論

①

賛成?



市議会定例会最終日に議案の採決が行われます。採決の前に、議案への賛成・反対の意見を議員が相互に表明する「討論」を行います。

9月定例会では、6議案について延べ14人の議員が賛成・反対の意見を表明し討論を行いました。

【認定第1号】平成27年度一般会計決算の認定

反対

子どもたちの自然体験学習サタデーオープンスクール。その参加費が児童1人100円から500円になり、さらに現在は700円で、今後1,000円になるという話だ。当然市の税収も昨年度より約5倍。金の話というより考え方の問題である。子どもへの対応は大人として一番試される。



サタデーオープンスクール

反対

- ①行政改革のコスト削減と称して、かわね保育園の民営化の準備をすすめ、移管先法人を決定した。公立と私立が切磋琢磨して、島田のより良い保育を作っていくべきだ。
- ②現業職員や保育士などの退職不補充と、臨時・嘱託職員が4割を占める非正規化を進めた。
- ③情報漏えいやなり済ましが不安視される中、住民に12桁の番号を付け、税や社会保障給付などの情報を行政手続きなどで活用するマイナンバー制度を導入した。

賛成

昨年度の決算額は、歳入が約377億円、歳出が約359億円で、差引額は約17億円、実質収支額は約16億円である。予算が適正かつ効率的に執行され、当年度の各事業が成果を挙げていることは、評価すべきものとする。財政運営の効率性と健全性を旨とし、市民本位の行政サービス提供に努めたものであり、一般会計決算の認定に賛成する。

【認定第7号】平成27年度介護保険事業特別会計決算の認定

反対

- ①65歳以上の介護保険料の基準月額を550円引き上げ、4,550円としたが、支払い準備基金を活用し、引き上げの抑制をすべき。
- ②介護認定で要支援1・2の訪問介護、通所介護を保険給付から外し、地域支援事業に移行した。地域包括支援センターを充実すべき。
- ③特養入所要件の要介護度3以上や介護サービスの利用料2割負担の導入、低所得者の特定入所者介護サービスの認定要件の厳格化など「保険あって介護なし」の状況を進めた。

賛成

いわゆる団塊の世代が要介護となる確率が高まる2025年を見据えた介護保険制度改正の影響を受け、適正な決算と理解する。

当年度は

- ①他市町に先駆けて新総合事業を開始。
- ②保険料を県下で3番目に安い金額に設定。
- ③要支援・介護認定率も、他市町に比べ極めて低い値となっている。

よって、高齢者福祉施策に積極的かつ適正に取り組んだ成果と評価する。

【議案第74号】市立保育所設置条例（一部改正）

反対

市が運営しているかわね保育園を、平成29年4月1日から社会福祉法人五和会に移管させることに伴い、かわね保育園の名称を削除する条例改正に反対する。

今、保育士不足が問題になっているが、保育士は身分でも待遇でも保障された中で、保育の仕事の蓄積ができる。公立は、保育の規範および基準となる役割をもっている。公立保育園の存続はますます重要ではないか。

賛成

これからの児童福祉は、保育のみならず子どもや子育て家庭の視点に立った多様で柔軟なサービスが求められ、そのための人材や財源の確保が必要である。民間にできることは任せ、行政は効率化を進めることが不可欠である。適切な指導・支援と、官・民の連携を密にしていこうにより質を維持しつつ、他の子育て支援の充実を図っていく時代であると考えている。

保育のための連携が一層強化され、市の子育て支援体制のさらなる充実を期待する。

【議案第81号】財産の取得について（消防ポンプ自動車の購入）

反対

「ボールペン1本から公共事業まで、市内業者でできることは、全て市内業者に発注すべきだ。」何回も言ってきた。分離発注でも修理やメンテナンスに全く変わりなかった。地元企業の税収や貢献度を考えれば市内の業者に発注すべきだ。プレミアム金券事業など市内での消費を喚起し、商店の活性化を目指しても、市の事業を市外業者に発注するようでは、『ざるで水をすくう施策』だ。市内の企業の声を代弁する意味合いからも、同議案に反対する。

賛成

消防ポンプ自動車の購入については、当初市内業者に限定し、一括発注方式により入札を行ったが、入札が不調となったことから、市外機装業者に再入札を行った。その結果不落ではあったが、予定価格と入札金額の差が軽微な5%以内であり、地方自治法の規定により随意契約とした。消防ポンプ車の調達を確実にし、市民の安全確保を最優先に手続きがされ、市内業者への発注を引き続き目指す方針であることから、本議案に賛成する。

【議案第82号】財産の無償譲渡（かわね保育園）

反対

かわね保育園の園舎、および倉庫を移管先法人に無償譲渡することに反対する。民営化することからといって、市民の財産を無償で譲渡することは、著しく公平公正さを欠くものであり、避けなければならないことだ。土地は無償貸与としているが、便宜を図りながら強引に民営化するやり方は容認できない。

賛成

市立かわね保育園を法人に移管するにあたり、園舎の無償譲渡は、法人の経済的負担を軽減し、円滑な保育を継続するために必要である。

運営主体と保育士が代わるなか、馴染みのある園舎に登園することは園児にとって大事なこともである。

園舎の無償譲渡は、良好な保育業務を引き続き行うためにも必要である。

【採決結果一覧】賛成・反対が分かれた議案を掲載しています

氏名	山本 孝夫	森 伸一	伊藤 孝	紅林 貢	福田 正男	杉野 直樹	横田川 真人	佐野 義晴	仲田 裕子	大石 節雄	村田 千鶴子	平松 吉祝	清水 唯史	八木 伸雄	藤本 善男	青山 真虎	桜井 洋子
	会派名	きょうどう島田					とうり 桃李の会				さきかけ 魁しまだ		創造島田			無会派	
【認定第1号】 平成27年度一般会計決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
【認定第7号】 平成27年度介護保険事業特別会計決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
【議案第74号】 市立保育所設置条例（一部改正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
【議案第81号】 財産の取得（消防ポンプ自動車の購入）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
【議案第82号】 財産の無償譲渡（かわね保育園）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
【請願第1号】（P23） 所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○

※議長（曾根嘉明）は、採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順）

議会活動レポート②

9/30
(金)

一般廃棄物(処理灰等)は 「埋め立て」から「外部委託」へ

市長から市議会に対し、「現在使用している谷口地区（初倉）の最終処分場への一般廃棄物処理灰等搬入を、平成29年3月31日をもって終了し、4月1日からは処理を外部委託する。」という説明がありました。

また、「次の最終処分場の建設計画は、いくつかの候補地を選定しながら総合的に判断して進めていく方針」で、「それまではごみの種類ごと複数の外部委託先に処理を委託する」とのことです。

現在の処分場は借用地であるため、使用終了後に覆土を行い、静岡県の確認を経てから地権者へ返還することになります。

議員からは、「処理灰以外のごみ（川さらい土砂、家庭のコンクリートガラなど）をどうするのか」などの質問が出され、市当局からは「すでに外部委託している近隣市の処理方法を参考にし、種類ごとの外部委託処理を考えている。」との回答がありました。



議会活動レポート③

9/30
(金)

消防広域化開始から半年が経過

静岡市を中心に島田市・牧之原市・吉田町・川根本町で、6年かけ準備をしてきた消防広域化が、本年4月から始まりました。

9月末で半年が経過したため、静岡市消防局職員が島田市議会を訪れ、検討段階から言われていた広域化のメリットについて報告をしました。

管轄境の変更による現場への到着時間短縮・出動車両の台数増加・同時火災発生時のバックアップ体制など、数多くの事例を交えての説明がありました。

消防広域化のメリットは、市民の生命や財産の保全に直結しています。今後も、消防広域化のメリットの維持拡大を期待します。



議会活動レポート④

8/2
(火)

山梨県甲州市議会が 『しまだ議会だより』視察に

山梨県甲州市議会議員9人が島田市議会を来訪し、「議会だより」の編集について意見交換を行いました。

甲州市議会も、現在、議会だよりの改革に努めており、「しまだ議会だより」の編集方法（編集から発行までの過程）や冒頭の特集記事の選定方法、紙面改革のプロセスについての質問がありました。島田市議会が数年で紙面改革を行ったことについては、「決定が早い」「委員以外の議員の方の了承はどのようにしたのか」といった質問が寄せられました。

これからも、他の市議会から視察に来てもらえる「議会だより」となるように、これからも編集に努めます。



議会活動レポート⑤

10/30
(日)今大会も、ランでも応援でも
がんばりました！

第8回しまだ大井川マラソン in リバティ

島田市議会は、毎年10月に開催される「しまだ大井川マラソン in リバティ」の大会に参加しています。

今回は5人の議員が大会へ出場し、12人がステーションでの応援とランナーへの給水係のボランティアを担当しました。

雨上がりの爽やかな1日、多くのランナーや市民ボランティアと協力し、大会を盛り上げました。



編集後記

「市民に読みやすく、分かりやすく、親しみやすい」議会だよりを目指し、今夏、東京都羽村市議会、新潟県燕市議会を訪問し調査を行いました。

両市議会は「議会改革は広報改革であり、広報改革は議会改革である」と、大胆な発想や斬新な表紙づくりなどの改革に取り組んでいる姿勢に大いに触発されました。今号より、特集シリーズは、常任委員会の協力を得て、一般市民（ボランティア活動）の皆様には焦点をあててまいります。

取材の折には、ご協力をお願いします。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 村田千鶴子
【副委員長】 山本 孝夫
【委員】 杉野 直樹 伊藤 孝
桜井 洋子 仲田 裕子
八木 伸雄

11月市議会定例会傍聴のお知らせ

議会を聴きに行こう！

議会をオンラインで見よう！



傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場（市役所3階）へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
11/20	21	22	23	24	25	11/26
		本会議 (初日)	勤労感謝 の日			
27	28	29	30	12/1	2	3
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育 (経済建設)	常任委員会 (総務生活 (予備日)		
11	12	13	14	15	16	17
					本会議 (最終日)	

☆本会議は9時30分開会です。

☆常任委員会は午前は9時、午後は1時30分開会です。

☆日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

あなたのパソコン・スマホ・タブレットでも視聴できます。

青色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。